

2025 年 8 月 22 日

三菱ふそうトラック・バス株式会社
鴻海精密工業股份有限公司
鴻華先進科技股份有限公司
三菱ふそうバス製造株式会社

FUSO バス事業強化および ZEV バスの共同開発に関する 基本合意書を締結

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:カール・デッペン、以下 MFTBC)と鴻海精密工業股份有限公司(Hon Hai Precision Industry Co., Ltd.、本社:台湾・新北市、董事長:劉揚偉、以下 Foxconn)は、ZEV(ゼロエミッション車両)バスにおける戦略的協業を検討する基本合意書を締結しました。本合意の下、日本の商用車業界の中核メーカーである MFTBC と世界最大の電子機器メーカーである Foxconn は、モビリティの脱炭素化を加速します。

また本合意では、FUSO ブランドのバス事業の強化を目的として、それぞれの子会社である三菱ふそうバス製造株式会社(本社:富山県富山市、代表取締役社長:藤岡佳一郎、以下 MFBM)と鴻華先進科技股份有限公司(Foxtron Vehicle Technologies Co., Ltd.、本社:台湾・新北市、董事長:劉揚偉、以下 Foxtron)は、Foxtron が開発した電気大型バス「MODEL T」および電気小型バス「MODEL U」を皮切りに、ZEV バスの開発、生産、サプライチェーンマネジメント、販売において協力します。

急速に変化するバス市場において多様なニーズに応える製品を提供し、持続的な事業成長を実現するべく、4 社は、本合意を起点として、FUSO ブランドの強化と新たな日本製のバスの開発に向けた将来のビジネスモデルを検討します。

MFBM は、日本製ディーゼルバスおよび ZEV バスの市場導入の検討など、バスの開発、生産、商品化のための事業プラットフォームの役割を担います。

性能と安全性に優れ、受賞歴のある電気大型バス「MODEL T」は、既に主要都市の公共交通機関で商業運行しています。汎用性と高機能を追求した電気小型バス「MODEL U」は、柔軟性と多機能性を象徴するクリーンかつシンプルなデザインが特徴です。

三菱ふそうトラック・バス株式会社について

三菱ふそうトラック・バス株式会社(MFTBC)は、川崎市に本社を置く商用車メーカーです。ダイムラートラック社が 89.29%、三菱グループ各社が 10.71%の株式を保有しています。90 年以上の歴史を持つ FUSO ブランドのトラックやバス、産業用エンジンを世界約 170 の市場向けに開発・製造・販売しています。日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」による電動化や、運転自動化では大型トラック「スーパーグレート」に国内商用車初の SAE レベル 2 相当の高度運転支援技術を実装するなど、先進技術の開発に積極的に取り組んでいます。

鴻海精密工業について

1974 年に台湾で設立された鴻海科技集団(フォックスコン、証券コード:TWSE:2317)は、世界最大の電子機器製造企業であり、先進的な技術ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。フォーチュン・グローバル 500 では世界第 28 位にランクされています。

2024 年の売上高は 6.86 兆ニュー台湾ドル(約 2,080 億米ドル)に達し、電子機器受託製造サービス(EMS)分野では世界市場の 40%以上を占めています。現在、世界 24 か国に 230 以上の拠点を展開しており、製造の繁忙期には約 90 万人の従業員を抱える、世界最大級の雇用主のひとつです。

フォックスコンは、電気自動車(EV)、デジタルヘルス、ロボティクスの分野にも事業を拡大しており、人工知能(AI)、半導体、次世代通信技術という 3 つの主要技術を軸に、スマート製造、スマート EV、スマートシティという 3 つのインテリジェント・プラットフォームを組み合わせた「3+3+3」戦略を通じて、長期的な成長を目指しています。

また、製造プロセスにおける環境への配慮にも力を入れており、持続可能な社会の実現に向けて、グローバル企業の模範となることを目指しています。

詳しくは公式サイト www.honhai.com をご覧ください。

鴻華先進科技股份有限公司について

2020 年に設立された Foxtron Vehicle Technologies は、台湾で唯一、車両の設計・開発からシステムの検証までを一貫して行える企業です。ICT(情報通信技術)と自動車産業における、鴻海科技集団(Foxconn)と裕隆グループの長年の経験を活かし、Foxtron は CDMS(契約設計・製造サービス)というビジネスモデルで事業を展開しています。

Foxtron は「台湾に根ざし、世界へ展開する」というビジョンのもと、オープンプラットフォーム戦略を採用し、台湾の ICT および自動車産業と連携しながら、次世代 EV(電気自動車)エコシステムの構築と国際展開を目指しています。

三菱ふそうバス製造株式会社について

三菱ふそうバス製造株式会社(MFBM)は、1950 年の創業以来、75 年以上にわたり高品質なバスを製造しお客様に提供しています。富山県にある最先端の製造拠点は、FUSO ブランド

の大型観光バス「エアロキーン／エアロエース」、大型路線バス「エアロスター」、およびマイクロバス「ローザ」を製造しています。また、国際的な品質および環境マネジメントの認証も取得しています。(ISO/IATF16949:2018 年取得、ISO9001:2001 年取得、ISO14001:2003 年取得)

FUSO ブランドについて

「FUSO」はダイムラートラックのブランドの一つです。世界約 170 の市場において、トラックやバスといった商用車や産業用エンジンを展開しています。90 年以上の歴史と日本ならではの品質や熟練技術による効率性や安全性、快適性が特徴です。小型トラック「キャンター」は世界中の様々な市場でトップシェアを獲得しており、日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」をグローバルに展開し、商用車の電動化をリードしています。ブランドスローガン「Future Together」の下、FUSO はお客様とともに安全かつサステナブルな輸送ビジネスを未来へ繋いでいくことを約束します。